## 正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位:円)

			(単位:円)
科 目	当年度	前年度	増減
  I 一般正味財産増減の部			
I 一般正味財産増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	2, 405	2, 367	38
特定資産受取配当金	3, 950, 000	2, 300, 000	1, 650, 000
特定資産運用益計	3, 952, 405	2, 302, 367	1, 650, 038
受取寄付金			
受取寄付金振替額	5, 151, 005	8, 617, 444	$\triangle$ 3, 466, 439
雑収益	0.40	0.51	۸ 11
受取利息 雑収益	240 209, 225	251 0	$\begin{array}{c} \triangle \ 11 \\ 209, 225 \end{array}$
維収益計	209, 465	251	209, 214
経常収益計	9, 312, 875	10, 920, 062	$\triangle 1,607,187$
(2) 経常費用	0, 012, 010	10, 020, 002	△ 1,001,101
事業費			
給料手当	6, 448, 711	7, 929, 479	△ 1,480,768
旅費交通費	0	840	△ 840
通信運搬費	80, 143	91, 312	△ 11, 169
消耗品費	12, 730	20, 137	$\triangle$ 7, 407
諸謝金	637, 420	564, 600	72, 820
租税公課	11,600	0	11,600
維費 事業費計	44, 180 7, 234, 784	41, 823 8, 648, 191	$2,357$ $\triangle 1,413,407$
・	1, 234, 104	0, 040, 191	△ 1,415,407
役員報酬	480, 000	420, 000	60,000
給料手当	921, 245	1, 132, 783	△ 211, 538
旅費交通費	5, 340	8, 572	△ 3, 232
通信運搬費	8, 268	7, 546	722
消耗品費	1, 415	2, 237	△ 822
諸謝金	653, 364	694, 736	$\triangle$ 41, 372
租税公課	3, 550	1, 350	2, 200
推費 第四番記	4, 909 2, 078, 091	4, 647 2, 271, 871	$ \begin{array}{c} 262\\ \triangle 193,780 \end{array} $
管理費計 経常費用計	9, 312, 875	10, 920, 062	$\triangle$ 193, 780 $\triangle$ 1, 607, 187
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
その他の経常外収益			
貸倒引当金戻入益	1, 743, 000	4, 826, 400	△ 3, 083, 400
経常外収益計	1, 743, 000	4, 826, 400	△ 3, 083, 400
(2)経常外費用 その他の経常外費用			
指定正味財産への振替額	1, 743, 000	4, 826, 400	△ 3,083,400
経常外費用計	1, 743, 000	4, 826, 400	$\triangle$ 3, 083, 400 $\triangle$ 3, 083, 400
当期経常外増減額	1, 143, 000	1, 020, 400	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	842, 365	842, 365	0
一般正味財産期末残高	842, 365	842, 365	0
II 指定正味財産増減の部			
特定資産評価損益等	194 000 000	91 900 000	100 700 000
特定資産評価損益等 一般正味財産からの振替額	134, 000, 000	31, 300, 000	102, 700, 000
一般正味財産からの振替額	1, 743, 000	4, 826, 400	△ 3,083,400
一般正味財産からの振音額	1, 743, 000	4, 020, 400	$\triangle 3,003,400$
一般正味財産への振替額	△ 5, 151, 005	△ 8, 617, 444	3, 466, 439
当期指定正味財産増減額	130, 591, 995	27, 508, 956	103, 083, 039
指定正味財産期首残高	326, 207, 589	298, 698, 633	27, 508, 956
指定正味財産期末残高	456, 799, 584	326, 207, 589	130, 591, 995
Ⅲ 正味財産期末残高	457, 641, 949	327, 049, 954	130, 591, 995

# <u>財産</u><u>目録</u> 令和 6年 3月 31日 現在

(単位:円)

貸借対照	表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金		
	1月並	三井住友信託銀行	運転資金	761, 428
		日本橋営業部		
		三菱UFJ銀行 門前仲町支店	同上	45, 368
		みずほ銀行 深川支店 通常貯金	同上	33, 183
		ゆうちょ銀行 江東木場郵便局	運転資金	35, 058
流動資産合計				875, 037
(固定資産) 特定資産				
竹 <b>化</b> 頁 <i>生</i>	奨学貸与金	奨学生に対する貸与金	指定正味財産を財源とする公益 目的保有財産であり奨学生に対 する貸与金である。	51, 558, 153
	貸倒引当金		奨学貸与金に対する貸倒引当金	△ 720, 000
		株式会社フジクラ株式 (50,000株)	指定正味財産を財源とする管理 運営財産であり、運用益を管理 運営の用に使用している。	113, 900, 000
		定期預金 三井住友信託銀行 日本橋営業部	同上	90, 000, 000
		普通預金 三井住友信託銀行	同上	19, 005, 482
	奨学基金	日本橋営業部 株式会社フジクラ株式 (50,000株)	指定正味財産を財源とする公益 目的保有財産。運用益を奨学金 貸与事業(公益目的事業)に使用 している。	113, 900, 000
	奨学資金積立基金	普通預金 三井住友信託銀行 日本橋営業部	指定正味財産を財源とする財産 であり、運用益及び元本を奨学 金貸与事業(公益目的事業)に使 用している。	43, 567, 177
		普通預金 三井住友銀行 深川支店	同上	7, 685, 999
		普通預金 三菱UFJ銀行 門前仲町支店	同上	7, 550, 272
		普通預金 みずほ銀行 深川支店	同上	3, 866, 001
		通常貯金 ゆうちょ銀行 江東木場郵便局	同上	6, 486, 500
固定資産合計				456, 799, 584
資産合計				457, 674, 621
(流動負債)	新 n 仝	江東西沿敦盟	<b>海自託犯</b>	00.070
流動負債合計	預り金	江東西税務署	源泉所得税	32, 672 32, 672
固定負債合計				02,012
負債合計				32, 672
正味財産				457, 641, 949

#### 財務諸表に対する注記

- 1. 重要な会計方針
  - (1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券 時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法 時価のないもの…移動平均法による原価法

(2)引当金の計上基準

貸倒引当金…貸倒懸念債権について回収不能見込額を計上している。

(3)消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
奨学貸与金	60, 135, 800	2, 400, 000	10, 977, 647	51, 558, 153
貸倒引当金	△ 2, 463, 000	0	△ 1,743,000	△ 720,000
管理運営資金	156, 006, 340	87, 550, 000	20, 650, 858	222, 905, 482
奨学基金 (フジクラ株式)	46, 900, 000	87, 550, 000	20, 550, 000	113, 900, 000
奨学資金積立基金	65, 628, 449	10, 977, 647	7, 450, 147	69, 155, 949
合 計	326, 207, 589	188, 477, 647	57, 885, 652	456, 799, 584

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産 奨学貸与金 貸倒引当金 管理運営資金 奨学基金 (フジクラ 株式)	$51, 558, 153$ $\triangle 720, 000$ $222, 905, 482$ $113, 900, 000$	$(\triangle 720,000)$ (222,905,482)	(0) (0) (0) (0)	(0) (0) (0) (0)
奨学資金積立基金	69, 155, 949	(69, 155, 949)	(0)	(0)
合 計	456, 799, 584	(456, 799, 584)	(0)	(0)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
目的使用による指定解除	5, 151, 005
	5, 151, 005

- 5. 金融商品の状況
  - (1)金融商品に対する取組方針

当法人は債券、株式、投資信託により資産運用する。 なお、デリバティブ取引は行わない方針である。 (2)金融商品の内容及びそのリスク

管理運営資金及び奨学基金の中には株式があり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

- (3)金融商品のリスクに係る管理体制
  - ①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

## 法 人 名:公益財団法人フジクラ育英会

# 附属明細書

#### 1. 重要な固定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載をしたとおりである。

# 2. 引当金の明細

(単位:円)

					(1121117
科 目 期首残高	相关成古	当期増加額	当期減少額		期末残高
	当别增加银	目的使用	その他		
貸倒引当金	2, 463, 000	0	0	1, 743, 000	720,000